

介護職のみなさんに知ってほしい「結核」の基礎知識

R5.11.8 北海道釧路保健所作成

○結核とは

- 空気中の結核菌が肺に入って感染し、それによって発病する病気です。現代では急速に減少している結核ですが、今でも高齢者を中心に年間1万人以上の患者が発生しています。



○感染と発病の違い

〈感染〉

- 結核菌が身体の中に入り、それに対する身体の反応が起こっている状態です。また、感染しただけでは人にうつすことはありません。

〈発病〉

- 菌が増殖し、何らかの身体の変化や症状が出てくる状態です。結核の発病率は1～2割で、菌の量や強さ、感染者の免疫などが関係します。
- 高齢者の場合、過去に結核が蔓延していたときに結核菌に感染しており、加齢に伴う体力や免疫低下により発病することもあります。

○症状

- 咳・痰、微熱、胸痛、体重減少など

○検査

- 原則として、結核の“感染”を血液検査で、“発病”を胸部X線検査で調べます。また“感染性（人にうつす力）の有無や程度”について痰の検査をします。

○治療

- 原則として、6ヶ月以上の定められた期間、複数の薬を内服します。
確実な内服継続のため周囲の方の支援が重要になります。



○予防方法

- バランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠、禁煙、免疫が低下する疾患（糖尿病、腎疾患等）の治療、管理が大切です。

○高齢者の結核を早期発見するには

〈日常的な健康観察〉

- 2週間以上続く呼吸器症状（咳、痰など）の症状が続く場合には、かかりつけ医や嘱託医を受診しましょう。
- 高齢者では、はっきりと症状が出ないことも多く、継続する体調不良やなんとなく元気がないなど、普段と違う様子がないか目を配っていただくことが大切です。
- 健康管理のための情報として、結核等の既往歴や治療中の病気を確認しましょう。

〈定期健康診断の活用〉

- 「高齢者は結核のハイリスク者」であり、健診が義務ではない施設も定期的な健康診断で、胸部X線検査を受けることが大切です。



○職員さんの健康を守るために

〈職員の定期健康診断〉

- 少なくとも年に1回は胸部X線検査を受けましょう。精密検査の通知が来たら、自覚症状がなくても必ず受診しましょう。

〈咳エチケット〉

- 咳が出る時は、サージカルマスクを着用しましょう。

〈セルフケア〉

- 免疫力を維持し、風邪等の症状が続く時は、早めの受診を心がけましょう。免疫が低下する疾患（糖尿病、腎疾患等）がある時は、確実に治療継続しましょう。

保健所は結核の相談窓口です

結核に関してわからないこと、心配なこと等ご相談ください。
北海道釧路保健所（釧路総合振興局保健環境部保健行政室）
健康支援係 TEL：0154-65-5825
FAX：0154-65-5352

〈参考〉

結核予防会結核研究所, 「介護職のあなたにこれだけは知ってほしい結核のこと」, 2023.4
結核予防会結核研究所, 「高齢者介護に関わる人のための ” 結核 ” 基礎知識」, 2016.7